

先進医学解析技術を用いた職業性肺疾患の基盤的研究

【研究概要】

①化学物質ばく露により誘発された職業性肺疾患-臨床サンプル（労災病院で外科的切除等でサンプリングされた臨床サンプル）等を用いて、1細胞解像度レベルでの空間オミクス解析による包括的データベース（職業性疾患-空間アトラス）構築及び②日本人由来 iPS 細胞から分化誘導させた肺臓器構成細胞の特殊培養プラットフォームによる組織の *in vitro* 再構成及び新規評価手法の開発に資する基盤的研究を実施し、1細胞解像度により職業性肺疾患の疾患微小環境及び発症-進展機序を理解する。

4年間のタイムスケジュールについて

- ・ 用いるサンプルは、臨床肺疾患及びアセンブロイド等
- ・ 上皮細胞等の摂動解析ではアセンブロイド培養技術を活用

